

【教育委員会】

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
【教育総務課】 高等学校建設費	958,341 (1,057,050)	新耐震基準以前に設計された高等学校について、順次、耐震診断調査結果に基づき、補強工事を実施していく。 また、学校施設の適切な維持のため、施設改修を行う。
国	103,561	1 耐震対策（資 - 教委 1） 703,796 （債務負担行為 平成22,23年度 445,117）
起	747,600	・耐震補強工事 5 校 継続工事 3 校（堅田、草津東、虎姫） 新規工事 2 校（瀬田工業、瀬田）
－	107,180	・2次診断 10校 ・設計 4 校
		2 施設改修 9,626 設計・工事（草津高校体育館天井板落下防止工事）1 件
		3 アスベスト対策 244,919 再調査等により新たにアスベストの使用が判明した箇所に対する設計・工事
特別支援学校建設費	77,069 (255,569)	必要な改修等を行い、教育環境の整備を図る。
国	7,109	1 施設改修 13,368 工事（新旭養護学校下水道接続工事） 1 件
起	5,700	2 守山養護学校大津校舎解体及び代替教室の整備 54,800 大津赤十字病院内に設置している守山養護学校大津校舎について、土地の賃貸借契約が平成21年12月31日で終了することに伴い、大津校舎として区分所有している建物が解体されることから応分の経費を負担するとともに、代替教室の整備を行う。
－	64,260	3 アスベスト対策 8,901 再調査等により新たにアスベストの使用が判明した箇所に対する設計・工事

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
教育行政企画調整費	<p>1,168 (2,923)</p> <p>－ 1,168</p>	<p>1 「滋賀 教育の日」推進事業 39</p> <p>11月1日の「滋賀 教育の日」と、その前後の10、11月を中心に各種の関連事業を展開して、県民がそれぞれの立場、場所で教育の場に参加し、ともに支え合う「滋賀の教育」を推進する。</p> <p>2 滋賀の教育改革の推進（資 - 教委 5） 666</p> <p>改正教育基本法に基づき、新たに「滋賀県教育振興基本計画」を策定し、その周知を図る。（策定事業：平成20年度～） また、今後の県立学校のあり方について、「県立学校のあり方検討委員会」の報告ならびに「滋賀県産業教育審議会」の答申を踏まえ、具体的な計画の策定に向けた取組を進める。</p>
<p>【教職員課】</p> <p>教職員給与費</p>	<p>115,158,390 (114,944,932)</p> <p>国 19,684,614</p> <p>使 3,499,548</p> <p>諸 6,537</p> <p>起 5,000,000</p> <p>－ 86,967,691</p>	<p>基礎・基本の確実な定着を図るとともに、児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばすため、少人数学級編制や少人数指導などきめ細かな指導を推進し、また、いじめや不登校をはじめとした喫緊の教育課題に対する指導の充実を図る。</p> <p>1 少人数学級編制（資 - 教委 1）</p> <p>(1) 小学校1年生、2年生、3年生および中学校1年生における35人学級編制（小学校にあっては複数指導との選択制）をすべての小中学校で実施する。</p> <p>・継続 小学校 教員 143人 非常勤講師 90人（週15時間）</p> <p>中学校 教員 80人</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明																																																																														
(教職員給与費)		(2) 小学校4年生から6年生における少人数学級編制の実施																																																																														
		<p>個に応じたきめ細かな指導を図り、特色ある学校教育を進めるため、学校の実情に応じて、選択により小学校4年生から6年生のうち、1つの学年において少人数学級編制が実施できるよう、必要な教職員の配置を行う。</p>																																																																														
		<p>・継続 小学校 臨時講師 10人</p>																																																																														
		<p>教職員定数 単位：人</p>																																																																														
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>21年度(A)</th> <th>20年度(B)</th> <th>増減(A-B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">小学校</td> <td>校長教諭等</td> <td style="text-align: center;">4,666</td> <td style="text-align: center;">4,674</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>養護教諭</td> <td style="text-align: center;">252</td> <td style="text-align: center;">247</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>栄養教諭・ 栄養職員</td> <td style="text-align: center;">67</td> <td style="text-align: center;">66</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>事務職員</td> <td style="text-align: center;">252</td> <td style="text-align: center;">247</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td style="text-align: center;">5,237</td> <td style="text-align: center;">5,234</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">中学校</td> <td>校長教諭等</td> <td style="text-align: center;">2,701</td> <td style="text-align: center;">2,691</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>養護教諭</td> <td style="text-align: center;">103</td> <td style="text-align: center;">101</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>栄養教諭・ 栄養職員</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>事務職員</td> <td style="text-align: center;">116</td> <td style="text-align: center;">118</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td style="text-align: center;">2,932</td> <td style="text-align: center;">2,922</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">高等学校</td> <td>校長教諭等</td> <td style="text-align: center;">2,241</td> <td style="text-align: center;">2,284</td> <td style="text-align: center;">43</td> </tr> <tr> <td>上記以外の職員</td> <td style="text-align: center;">463</td> <td style="text-align: center;">470</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td style="text-align: center;">2,704</td> <td style="text-align: center;">2,754</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特別支援学校</td> <td>校長教諭等</td> <td style="text-align: center;">941</td> <td style="text-align: center;">919</td> <td style="text-align: center;">22</td> </tr> <tr> <td>上記以外の職員</td> <td style="text-align: center;">167</td> <td style="text-align: center;">171</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td style="text-align: center;">1,108</td> <td style="text-align: center;">1,090</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">11,981</td> <td style="text-align: center;">12,000</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> </tbody> </table>			21年度(A)	20年度(B)	増減(A-B)	小学校	校長教諭等	4,666	4,674	8	養護教諭	252	247	5	栄養教諭・ 栄養職員	67	66	1	事務職員	252	247	5	小計	5,237	5,234	3	中学校	校長教諭等	2,701	2,691	10	養護教諭	103	101	2	栄養教諭・ 栄養職員	12	12	0	事務職員	116	118	2	小計	2,932	2,922	10	高等学校	校長教諭等	2,241	2,284	43	上記以外の職員	463	470	7	小計	2,704	2,754	50	特別支援学校	校長教諭等	941	919	22	上記以外の職員	167	171	4	小計	1,108	1,090	18	合計		11,981	12,000	19
				21年度(A)	20年度(B)	増減(A-B)																																																																										
		小学校	校長教諭等	4,666	4,674	8																																																																										
			養護教諭	252	247	5																																																																										
			栄養教諭・ 栄養職員	67	66	1																																																																										
			事務職員	252	247	5																																																																										
			小計	5,237	5,234	3																																																																										
		中学校	校長教諭等	2,701	2,691	10																																																																										
			養護教諭	103	101	2																																																																										
			栄養教諭・ 栄養職員	12	12	0																																																																										
			事務職員	116	118	2																																																																										
小計	2,932		2,922	10																																																																												
高等学校	校長教諭等	2,241	2,284	43																																																																												
	上記以外の職員	463	470	7																																																																												
	小計	2,704	2,754	50																																																																												
特別支援学校	校長教諭等	941	919	22																																																																												
	上記以外の職員	167	171	4																																																																												
	小計	1,108	1,090	18																																																																												
合計		11,981	12,000	19																																																																												

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【福利課】</p> <p>教職員福利厚生費</p>	<p>135,683 (186,702)</p> <p>諸 174</p> <p>— 135,509</p>	<p>教職員の生活の安定と福祉の向上に寄与するとともに、公務の能率的運営に資するため、福利厚生事業を実施する。</p> <p>1 教職員の安全衛生管理体制の推進 58,611</p> <p>2 公立学校共済組合運営費 74,249</p>
<p>【学校教育課】</p> <p>生徒指導対策費</p>	<p>197,415 (226,647)</p> <p>国 116,800</p> <p>⊖ 80,615</p>	<p>不登校、いじめ、暴力行為等の生徒指導上の諸問題への対策として、児童生徒や保護者に対する相談・指導体制を充実する。</p> <p>1 スクールカウンセラー等活用事業（資 - 教委 2） 84,106</p> <p>スクールカウンセラーの配置 ・ 中学校：100校 ・ 県立学校：重点校10校（地域拠点）、その他36校</p> <p>2 小学校心のオアシス相談員の配置（資 - 教委 2） 9,499</p> <p>児童が悩みを気軽に話せ、ストレスを和らげることができる第三者的な存在となる心のオアシス相談員を30小学校へ配置する。</p> <p>3 生徒指導緊急特別対応事業（資 - 教委 2） 9,000</p> <p>暴力行為等課題の大きな学校への支援を行うため、警察OBと教員OBをチームとして学校へ派遣し、学校と関係機関との一層の連携強化を推進するとともに、学校に対して問題を起こす児童生徒やその保護者への対応の指導助言を行う。</p> <p>4 問題を抱える子ども等の自立支援事業 82,489</p> <p>いじめの事案をはじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等、学校が抱えている問題の解決が強く迫られている状況の中、未然防止や早期発見、早期対応（訪問指導など）ができる体制づくり、および、子ども達の支援を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明																		
(生徒指導対策費)		<p>5 中学生保護者支援員配置事業(資-教委2) 9,799</p> <p>不登校やいじめ等に不安や悩みを抱えた保護者の支援を行うことにより学校と保護者が協力して生徒の自立支援を行う。</p>																		
高等学校奨学資金貸付事業費	330,967 (297,801)	<p>経済的理由により高等学校等へ進学することが困難な者に対して奨学資金を貸与する。</p> <p>奨学資金貸付金 313,446</p> <p>貸与者：1,117人(予定)</p> <table border="1" data-bbox="724 869 1323 1106"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>自宅通学者</th> <th>自宅外通学者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">奨学金 (月額)</td> <td>国公立</td> <td>18,000円</td> <td>23,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30,000円</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入学資金 (一時金)</td> <td>国公立</td> <td colspan="2">50,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td colspan="2">50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり</td> </tr> </tbody> </table>			自宅通学者	自宅外通学者	奨学金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円	私立	30,000円	35,000円	入学資金 (一時金)	国公立	50,000円		私立	50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり	
		自宅通学者	自宅外通学者																	
奨学金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円																	
	私立	30,000円	35,000円																	
入学資金 (一時金)	国公立	50,000円																		
	私立	50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり																		
諸	221,429																			
⊖	109,538																			
特別支援教育振興費	28,669 (26,412)	<p>一人ひとりの障害の状況に応じた指導を行い、児童生徒が自立し、社会参加をするための基礎となる生きる力を育成する教育を充実する。</p> <p>1 病弱教育等振興費 13,657</p> <p>病気療養児童生徒を対象に、巡回訪問指導教員7人を派遣し、学習の支援、相談活動等の教育対応を図る。</p> <p>2 要医療的ケア児童生徒学習支援事業 3,462</p> <p>医療的ケアを必要とする児童生徒が参加する修学旅行等の校外行事に看護師を派遣する。</p>																		
国	3,980																			
⊖	24,689																			

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(特別支援教育振興費)		<p>3 発達障害児童生徒への指導力向上事業(資-教委1) 6,649</p> <p>小・中・高等学校に特別支援教育巡回チームを派遣し、学校現場での発達障害の児童生徒への指導力の向上を図る。</p>
教科等指導対策費	<p>93,325 (70,705)</p> <p>国 28,700</p> <p>諸 51,552</p> <p>⊖ 13,073</p>	<p>子どもたちの発達段階や課題に応じた多様な体験学習の取組などを行う。</p> <p>1 豊かな体験活動推進事業 12,850</p> <p>児童生徒の豊かな人間性や社会性を育むため、小・中学生には命の大切さを学ばさせる体験活動、長期宿泊体験活動、農山漁村における生活体験活動を、高校生には社会奉仕活動を実施することで、命を大切に作る心や他人を思いやる心、規範意識等の育成を図る。</p> <p>2 中学生チャレンジウイーク事業 700</p> <p>子どもたちが職業観・勤労観をはぐくみ、自らの将来の生き方を見い出していく力を養うため、県立中学生に対し5日以上の職場体験を実施する。また、市町においても、職場体験が円滑に行われるよう、関係機関との連携を図るための県支援会議を実施する。</p> <p>3 理科支援員等配置事業 51,552</p> <p>小学校理科教育の活性化および充実を図るとともに、教員の指導力向上を図るため理科支援員を配置する。</p> <p>4 全国学力・学習状況調査等を活用した学校改善推進事業 15,000</p> <p>全国学力・学習状況調査の調査結果を活用し、学校の教育施策や教育指導等の改善策を定めたアクションプログラムを策定し、調査活用協力校において学校改善の実践研究を行い、その成果の普及を図る。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(教科等指導対策費)		<p>新 5 小・中連携教育実践研究事業 850</p> <p>小・中学校間の相互の連携を促進し、小学校から中学校への継続性や接続の円滑化を図り、学習指導、生徒指導、学校運営などの改善を進めるため、小・中学校連携教育の在り方等について実践的な研究を行う。</p>
環境教育推進費	<p>7,518 (4,120)</p> <p>国 4,000</p> <p>⊖ 3,518</p>	<p>学校教育における環境教育のより一層の推進を図るため、各校種における環境学習の実践事例を交流し、環境学習の在り方等の研究協議等を行う。</p> <p>1 環境教育研究協議会の実施 118</p> <p>新 2 環境教育副読本等開発費 3,400</p> <p>現在小学4・5・6年生で活用している環境教育副読本「あおいびわ湖」は、発行から8年を経過し記述内容が古くなっていることから、新教育課程の実施にあわせた環境教育の推進が図れるよう改訂を行う。</p>
国際教育推進費	<p>110,149 (139,514)</p> <p>国 4,800</p> <p>⊖ 105,349</p>	<p>急速に進展する国際化に対応できる人材を育成するため、ALTの招致や海外との交流事業を実施する。</p> <p>1 語学指導外国青年招致費 101,968</p> <p>外国語指導助手(ALT:19人)を高等学校等に配置し、生徒の外国語理解・コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>2 外国人児童生徒ほっとサポート事業 844</p> <p>日本語指導が必要な外国人児童生徒に対し、母語を理解できる指導協力者が母語を介して児童生徒やその保護者と円滑なコミュニケーションが図れるように、学校生活や学習などについての支援を行う。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(国際教育推進費)		<p>3 滋賀県高校生海外ホームステイ体験プログラム 2,427</p> <p>外国での学校・家庭生活の体験により異文化への理解を深め、国際的視野を持たせるとともに、英語運用能力の向上を図ることを目的に県内の高校生を海外に派遣する。</p> <p>高校生海外相互派遣 本県の高校生と米国ミシガン州の高校生各20人を相互に派遣する。</p> <p>4 小学校における英語活動等国際理解活動推進事業 4,800</p> <p>小学校における外国語活動の導入に向けた条件整備を図るため、英語教材を用いた効果的な指導や評価の在り方について実践研究を行う。</p>
情報教育推進費	<p>235,235 (241,255)</p> <p>⊖ 235,235</p>	<p>情報教育の推進に資するため、教科「情報」の展開や、教育情報ネットワークの運用ならびに教育用コンピュータ等の整備を行う。</p> <p>1 教育用コンピュータ等整備 199,136</p> <p>高等学校および特別支援学校において、教育用コンピュータをリースにより計画的に整備する。なお、平成21年度は、高等学校7校、特別支援学校2校で機器の更新を行う。</p> <p>2 教育情報ネットワーク 36,099</p> <p>びわ湖情報ハイウェイネットを利用して県内小中高等学校等を高速ネットワークで結ぶ「教育情報ネットワーク」を運用する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
中学校教育振興費	17,731 (18,012) 使 1,033 ⊖ 16,698	県立中学校における教科指導、特別活動指導等を円滑に推進するとともに、学校活動の充実を図る。 県立中学校教科・特別活動費 3,454 教科指導、特別活動指導等の円滑な実施のため、教材等を整備する。
高等学校教育設備整備費	93,100 (94,421) 国 5,000 ⊖ 88,100	高等学校における教科用設備を整備する。 1 高等学校教科および特別活動設備 50,300 教科指導、特別活動指導等の円滑な実施のため、機器等を整備する。 2 高等学校図書整備費 25,000 高等学校図書館の蔵書整備を行う。 3 一般実験実習設備整備費 7,800 高等学校における実験実習に要する機器を整備する。
高等学校教育振興費	128,320 (133,916) 国 10,000 ⊖ 118,320	高等学校における教育振興のため各種事業を実施する。 1 一般実験実習振興費 80,300 高等学校における実験実習に要する教材等を整備する。 2 アクティブハイスクール支援事業 20,400 未来を拓く人材を育成し、情報化・国際化・環境との調和の時代を生き抜く資質を養成するために、高校の特色をより明確にして高校教育を活性化する。

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(高等学校教育振興費)		<p>3 デュアルシステム実践推進事業 1,749</p> <p>企業実習と教育、職業訓練を組み合わせることで実施することにより、生徒自らの可能性を高め、社会で活躍する意欲を培い、人生を切り拓き挑戦する気概を育むキャリア教育の推進を図る。</p> <p>4 県立学校ジョブサポート事業 8,628</p> <p>無就労の若者が社会的問題となっている中、早期に離職することがないように、高校生や卒業生の就労支援を行う。</p> <p>5 ものづくり人材育成のための専門高校・地域産業連携事業 10,000</p> <p>地元産業と工業高校、産業振興財団などが連携し、ものづくり人材育成のための教育カリキュラムの検討、生徒および教員の職場体験や企業見学などの実践研修を行う。</p>
【総合教育センター】 研究調査費	<p>6,585 (6,651)</p> <p>⊖ 6,585</p>	<p>教育的諸問題の解決への基礎資料を提供するため、教科教育、教育相談の実態調査および実証的調査研究を行う。</p> <p>特別支援教育支援事業(資-教委1) 4,308</p> <p>発達障害等のある子どもの教育相談業務を行うとともに、専門的知識と技能を持った特別支援教育相談担当者を養成する。</p>
講習会費	<p>1,273 (1,330)</p> <p>⊖ 1,273</p>	<p>今日的課題や社会の変化に対応した研修・講座を実施し、教員の指導力向上を図る。</p> <p>指導力向上プログラム 797</p> <p>教員を対象に授業づくりや学級づくり等を目的とした実践的な研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業力アップ講座 8講座(20日) ・教科等指導力向上講座 5講座(7日)

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
教職員研修費	<p>9,022 (10,731)</p> <p>⊖ 9,022</p>	<p>教職員の資質向上を図るため、経験・職務に応じた研修を行う。</p> <p>1 マネジメント研修 468</p> <p>学校が課題解決に向けて組織的、機動的に対応できる組織体となるため、管理職の経営管理能力の育成と中堅教員のリーダーシップ養成を図る研修を行う。</p> <p>・対象：管理職（小・中・県立学校） 820人 中堅教員（小・中・県立学校） 90人</p> <p>2 新規採用教職員研修 4,797</p> <p>教育公務員としての使命感を高め、専門職としての基礎的な指導力を培うため、サービスと法規、待遇などの一般研修と学級経営や教科研究などの授業研修を行う。</p> <p>・対象：小・中・県立学校 270人 幼稚園 60人 養護教諭 15人 栄養教諭 5人</p> <p>3 教職員経験者研修 541</p> <p>新規採用者研修と10年経験者研修をつなぐライフステージ研修として、教職2年次、5年次に応じた基礎的知識・技能・態度を養う研修を行う。</p> <p>2年次 5年次 ・対象：小・中・県立学校 310人 160人</p> <p>4 10年経験者研修 2,760</p> <p>在職期間が10年に達した教員に対して、個々の能力、適性に 応じた研修を実施し、教科指導、生徒指導等の指導力の向上を 図る。</p> <p>・対象：小・中・県立学校 140人 幼稚園 21人 養護教諭 8人 学校栄養職員 5人</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
情報教育費	49,441 (55,699) ⊖ 49,441	1 しが e-センター推進費 28,806 e-Learningシステムおよび教育情報システムを活用し、研修、教育、相談を行うとともに教育情報の開発・収集と発信も併せて行う。 2 情報教育機器整備費 19,650 情報教育を推進するために新しい機器を活用し、教職員の能力向上を図る。
【びわ湖フローティングスクール】 活動費	35,982 (35,697) ⊖ 35,982	フローティングスクールの教育・学習効果を高めるための環境整備を行う。 (資 - 教委 3) 1 児童学習航海(1泊2日) 95航海 2 「湖の子」体験航海(1日) 2航海 3 特別航海(1日) 1航海
船舶運航管理費	227,803 (224,904) ⊖ 227,803	「うみのこ」の船舶の良好な保守管理のもと安全な運航を行う。 (資 - 教委 3)
学習船建造基金積立金	30,263 (30,000) 財 263 ⊖ 30,000	県民のシンボリックな存在である「うみのこ」の将来の新船建造を目的とした基金を積み立てる。 (資 - 教委 3)

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【人権教育課】</p> <p>人権教育推進指導事業費</p>	<p>11,882 (12,426)</p> <p>- 11,882</p>	<p>学校教育等における人権教育を推進するため、学校等における教育研究や指導者の養成を行う。また、地域社会が連携して人権教育を推進するための体制整備を行うとともに、重層的な課題を持つ児童生徒に対する地域ぐるみの取組を推進する。</p> <p>1 子ども輝き人権教育推進事業 3,592</p> <p>教育上重層的な課題があり、特に配慮が必要と認められる中学校区において、学校や家庭・地域・関係機関等が連携・協働し、子どもの人権が大切にされる環境を整備する。</p> <p>2 人権感覚あふれる学校づくり促進事業 862</p> <p>小学校等を中心に各校の人権教育のめざす目標を明確にし、その学習方法や指導方法の研究開発を行うとともに、校種を超えた学校、関係機関等との連携を通して人権感覚あふれる学校づくりを促進する。</p> <p>3 人権教育教職員等指導事業 839</p> <p>人権教育教職員実践サポート講座 人権教育に関わる教職員の授業実践をサポートする講座を開催する。</p>
<p>人権教育総合推進費</p>	<p>110,136 (110,960)</p> <p>- 110,136</p>	<p>社会教育における人権教育を推進するための体制の整備・充実を図るとともに、市町等における人権教育諸活動の促進を図る。</p> <p>1 人権教育指導者研修会 122</p> <p>人権学習を推進するための地域におけるコーディネーターおよび社会教育団体の指導者を養成する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(人権教育総合推進費)		<p>2 (財)滋賀県人権センター事業推進 33,625 滋賀県人権センターの運営費および事業推進費を補助する。</p> <p>3 人権教育研究事業推進 29,189 滋賀県人権教育研究会の運営費および事業推進費を補助する。</p> <p>4 地域総合センター職員設置費補助 36,136 市町がセンターに置く教育担当職員の給与費等を補助する。</p>
<p>【生涯学習課】</p> <p>県市町等社会教育体制強化費</p>	<p>8,398 (9,916)</p> <p>— 8,398</p>	<p>社会教育関係職員等の資質向上のための研修事業や社会教育関係団体が実施する事業の補助を行う等、社会教育体制整備の推進を図る。</p> <p>1 社会教育連絡体制支援事業 1,013 社会教育関係団体の実施する事業に対し補助を行う。</p> <p>2 社会教育体制強化支援事業 412 社会教育関係職員の資質の向上のため、研修の場を強化する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
生涯学習推進事業費	15,933 (13,665) 諸 100 - 15,833	<p>いつでも、どこでも、だれでも主体的に学び、その成果を生かせるよう必要な支援を行い、生涯学習社会の実現をめざす。</p> <p>1 高等学校等開放講座推進事業 777 高等学校等の有する人的・物的教育機能を活用して、県民に学習機会を提供する。</p> <p>2 淡海生涯カレッジ開設事業 1,162 大学や高等学校、公民館等の学習機関が相互に連携・協力を図り、県民に広域的で体系的な学習機会を提供する。</p> <p>3 しが生涯学習アカデミー事業 840 県民の主体的な生涯学習を支援し、多様な学習ニーズに対応するため、各主体の講座等の情報を一元化して提供する。</p> <p>新 4 生涯学習推進基本構想策定事業 2,468 「滋賀の生涯学習社会づくり基本構想」の策定のため、協議会の開催や県民意識調査等を行う。</p>
女性教育振興費	1,200 (1,300) - 1,200	<p>男女共同参画の視点で女性の生涯にわたる学習機会の充実を図る。</p> <p>滋賀県女性団体活動推進事業 1,200 県内の女性団体が行う、女性の地位向上や、豊かな地域づくりを図る事業に対し補助を行う。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
市町等人権教育推進事業費	<p>8,504 (8,443)</p> <p>－ 8,504</p>	<p>すべての人々の人権が尊重される社会の実現を目指し、地域ぐるみでの人権教育の充実に努める。</p> <p>1 人権教育指導研修事業 520</p> <p>社会教育における人権に関する学習活動を総合的に推進する。</p> <p>2 市町同和教育推進協議会等事業補助 7,084</p> <p>市町同和教育推進協議会等の事業および社会同和教育推進員等の設置に対し補助を行う。</p> <p>3 県同和教育推進協議会事業補助 900</p> <p>人権意識の高揚と人権・同和教育の推進を図るため、県同和教育推進協議会に対して補助を行う。</p>
市町等図書振興事業費	<p>1,891 (2,781)</p> <p>－ 1,891</p>	<p>地域を支える情報や文化の拠点としての図書館の振興と子どもの読書活動の推進を図る。</p> <p>子ども読書活動推進事業 1,891</p> <p>子どもが自主的な読書活動を行うことができるよう、社会的気運を高める啓発や学習講座の開催等の環境整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発冊子等の作成 ・子ども読書学習講座

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
子どもを育む地域・ 家庭教育力推進事業	65,583 (41,681)	子どもを育てる環境づくりの総合的な推進のための「子どもを育む地域・家庭教育力推進事業」を実施し、社会全体で子育てを支え合う気運の醸成に向けた取組を推進する。
国	55,512	1 家庭教育力の向上 922
諸	100	子育てサポーター等の交流会や家庭教育資料の活用を進める取組により子育て学習の支援を行うとともに、保護者同士の語り合いの場づくりや、家庭教育の推進に向けた取組をする企業や事業所の拡大、子どもの望ましい基本的な生活習慣の育成を図る。
-	9,971	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育活性化推進事業 ・企業内家庭教育促進事業 ・「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動推進事業
		2 子どもの体験活動の機会と場の充実 494
		地域教育協議会の活性化を図り、子どもの体験活動の機会と場の充実に向けた環境づくりを進める。
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育力活性化推進事業 ・自然体験活動安全対策研修会
		3 「地域の力を学校へ」推進事業（資 - 教委 3） 3,124
		団塊の世代をはじめとして、豊富な知識や経験を持つ地域の様々な人々が、学校で活躍できる仕組みづくりを行う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「学校支援ディレクター」設置事業 ・学校と地域を結ぶコーディネート担当者新任研修
		4 放課後子ども教室推進事業（資 - 教委 3） 10,986
		安心・安全な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ、文化活動などの取組を推進する。
		5 学校支援地域本部事業 31,010
		学校支援地域本部を設置し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
青少年教育振興費	350 (350) ⊖ 350	<p>未来を切り開く豊かな心とたくましさを併せ持つ青少年を育成するため、青少年の自主性を尊重しつつ発達段階に応じた指導と支援に努める。</p> <p>1 「中学生広場」開催事業 350</p> <p>中学生が日頃の思いや意見を発表し、聞き合うことで、心のふれあいを広げるとともに、青少年の健全育成を図る。</p>
<p>【県立図書館】</p> 図書資料整備費	70,945 (76,803) 繰 50,000 ⊖ 20,945	<p>図書資料の収集、整備に努め、県民の資料情報センターとしての役割を果たしていく。</p> <p>図書資料等購入事業 67,390</p>
<p>【スポーツ健康課】</p> 学校保健安全指導費	162,892 (190,114) 国 3,989 諸 49,754 － 109,149	<p>児童生徒が健康で安全な生活を送ることができるよう、県立学校の児童生徒の健康課題に対する指導の充実や健康管理強化を図るとともに、地域ぐるみで取り組む学校安全体制の整備を推進する。</p> <p>1 健康管理強化事業 154,513</p> <p>県立中学校を始め、県立高・特別支援学校の児童生徒健康診断、学校環境衛生検査等を行う。</p> <p>2 学校安全体制整備推進事業 5,700</p> <p>家庭や地域の関係機関・団体と連携し、地域社会全体で学校安全に取り組む体制の整備を図る。</p> <p>3 地域専門家総合連携事業 2,089</p> <p>地域全体で学校保健活動を推進する体制整備をおこなう。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
学校体育指導費	<p>115,439 (55,344)</p> <p>国 1,926</p> <p>— 113,513</p>	<p>児童生徒の体力向上に努めるとともに心身の健全な発達を促し、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくための基礎を培う学校体育・スポーツの充実を図る。</p> <p>1 中体連活動振興事業費補助 15,343</p> <p>中学校体育大会の開催や全国大会等への派遣費に対し補助を行う。</p> <p>2 高体連活動振興事業費補助 27,297</p> <p>高等学校体育大会の開催や全国大会等への派遣費に対し補助を行う。</p> <p>新 3 インターハイ開催補助（資 - 教委 4） 70,000</p> <p>平成 21 年度に、奈良県を中心とした近畿 2 府 4 県で分散開催する全国高等学校総合体育大会において、本県で開催する 2 競技（ボート、アーチェリー）にかかる経費を補助する。</p>
学校給食指導費	<p>1,582 (1,686)</p> <p>— 1,582</p>	<p>学校給食の普及充実・改善指導に努める。</p> <p>1 湖っ子食育推進事業 267</p> <p>児童生徒に正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身につけさせるため、学校を中心に児童生徒期からの体系的・継続的な食に関する指導の充実を図る。</p> <p>新 2 第 60 回全国学校給食研究協議大会補助金 500</p> <p>「生きる」をはぐくむ食育の推進と学校給食の充実をテーマに開催する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
スポーツ大会費	<p>62,568 (458,846)</p> <p>－ 62,568</p>	<p>本県の競技スポーツの向上と生涯スポーツの振興のため、各種の全国的規模の大会に選手を派遣する。</p> <p>1 国民体育大会派遣費補助 56,278</p> <p>2 国民体育大会近畿ブロック大会負担金 2,000</p> <p>3 全国スポーツ・レクリエーション祭派遣費補助 3,432</p>
スポーツ団体育成費	<p>68,204 (68,931)</p> <p>－ 68,204</p>	<p>各種スポーツ団体の安定的な団体運営と事業実施を支援するとともに、本県のスポーツ振興にふさわしい各種競技大会を行う。</p> <p>1 中学校体育連盟育成補助 5,552</p> <p>中体連事務局の運営に要する経費に対し補助を行う。</p> <p>2 高等学校体育連盟育成補助 5,716</p> <p>高体連事務局の運営に要する経費に対し補助を行う。</p> <p>3 県民総スポーツの祭典開催 5,800</p> <p>県民体育大会と県民スポーツ・レクリエーション大会を統合した県民総スポーツの祭典の開催経費の一部を負担する。</p> <p>4 びわ湖毎日マラソン大会開催 30,000</p> <p>第65回びわ湖毎日マラソン大会（市民マラソンの部含む）の開催経費の一部を負担する。</p> <p>5 びわ湖大学駅伝大会開催 18,000</p> <p>びわ湖大学駅伝大会の開催経費の一部を負担する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
スポーツ強化対策費	33,234 (93,758) － 33,234	<p>高い競技レベルを有する選手が県民の代表として、世界や全国で活躍することにより、多くの県民が誇りと夢を持ってスポーツ活動に取り組むことができるよう、本県競技者の育成・強化を図る。</p> <p>選手強化対策費補助事業 33,234</p>
<p>【文化財保護課】</p> <p>文化財活用促進費</p>	<p>15,136 (16,110)</p> <p>国 4,100</p> <p>繰 6,876</p> <p>－ 4,160</p>	<p>県内各地に点在する文化財を活用することにより、地域づくりへの貢献や滋賀の歴史・文化の県内外への積極的な発信を図る。</p> <p>1 近江水の宝調査活用事業（資 - 教委 4） 6,200</p> <p>琵琶湖と水に関わる文化資産を把握し、全国に発信できる滋賀県の特性ある資産として広く周知するとともに、活用事業を展開することにより地域資産としての価値の定着化を図る。また、これらを通じて、地域の良さを子ども達が理解し、先人が築いた歴史文化を次代に継承する。</p> <p>新 2 特別史跡安土城跡活用促進事業 2,060</p> <p>平成元年度から平成 20 年度まで実施してきた「特別史跡安土城跡調査・整備事業」の成果としてシンポジウム等を開催するとともに、整備内容や調査成果をまとめた印刷物等を作成し、教育・観光等の幅広い分野での積極的な活用を図る。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
遺跡保存整備事業費	<p>144,658 (208,029)</p> <p>財 3,299</p> <p>繰 71,150</p> <p>諸 66,060</p> <p>－ 4,149</p>	<p>地域開発と遺跡保存との調和を図りつつ、文化遺産の保存対策を講ずる。</p> <p>公共事業関連緊急発掘調査 140,509</p> <p>公共事業の円滑な推進を図るため、国土交通省等からの受託による公共事業関連発掘調査等を行う。</p>
文化財調査事業費	<p>5,741 (5,736)</p> <p>国 3,075</p> <p>－ 2,666</p>	<p>県内に所在する文化財の実態を調査し、保存策の検討や記録保存を行うとともに、指定など、文化財の保存の促進と県民への活用を図る。</p> <p>1 古文書等詳細調査 2,350</p> <p>県内各地の社寺等に伝わる梵鐘や鯛口などの梵音具を調査し、保存策を講じるための資料を得る。</p> <p>2 特別天然記念物カモシカ生態調査 2,850</p> <p>特別天然記念物カモシカの保護のため、伊吹・比良地区における特別調査を京都府、福井県、岐阜県と共同で実施する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
文化財保護助成費	288,467 (310,177) 諸 199,989 - 88,478	文化財の保存と活用を図るため、文化財の所有者等が行う保存修理等の事業に対して助成を行う。 1 指定文化財保存修理等補助事業 74,446 (1) 文化財保存修理事業等に対する助成 44,942 国指定文化財保存修理等補助金 12件 26,392 県指定文化財保存修理等補助金 6件 18,550 (2) 市町教育委員会が行う個人住宅建設等に伴う発掘調査や埋蔵文化財分布調査等に対する助成 埋蔵文化財発掘調査等補助金 20件 29,074
安土城考古博物館管理運営費	135,365 (135,629) 使 1,151 繰 6,000 - 128,214	「近江風土記の丘」の中心施設である安土城考古博物館の魅力をさらに高めるため、城郭と考古をテーマとした展示、啓発事業を行うなど、施設の運営管理を指定管理者である(財)滋賀県文化財保護協会に委託する。
琵琶湖文化館管理運営費	23,150 (55,300) - 23,150	休館中の琵琶湖文化館に収蔵している国宝・重要文化財を含む収蔵品の安全かつ良好な管理を行うとともに、文化財調査や各種講座等を実施する。

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
史跡観音寺城跡調査 ・整備事業費	2,400 (2,400)	わが国を代表する中世山城である史跡観音寺城跡の石垣の崩落が深刻な状況にあることから、これまで大部分が未調査だった石垣の規模や危険度の詳細を把握するため、年次計画で悉皆調査を行う。これらの写真とデータをカルテ化し石垣の崩壊等に備えるとともに、今後の適切な保存に必要な基礎資料を得る。
	国 1,200	
	— 1,200	石垣基礎調査 2,400